



ネイチャーセンターだより

2025年5・6月号

新・いきもの図鑑



【参考文献】

梅沢俊. 2007. 新北海道の花. 北海道大学出版会.
大屋 哲. 2007. 鹿児島島の自然だより第12号. 鹿児島県立博物館.
清水ほか. 2002. 山溪ハンディ図鑑 8 高山に咲く花. 山と溪谷社.

イワツツジ（岩躑躅）

高さ2～5cm、地表近くで淡いピンク色の小さな花を咲かせる植物です。ほとんど枝がなく地面から葉と花が出ているため、一見、草本のように見えますが、ツツジ科の落葉低木です。地中には長く地下茎がのびています。夏には花より大きな赤い実をつけ、秋には紅葉が見られます。

本州中部以北と北海道に分布し、亜高山帯の林縁に多い植物ですが、夏でも霧が多く高山のように涼しい環境が広がる根室には、低地にもこのような高山植物が生育しています。春国岱では6月上旬から中旬ごろ、アカエゾマツコースの木道脇でひっそりと花を咲かせているのが観察できます。

なお、庭木としても知られる「岩ツツジ」はハヤトミツバツツジという九州南部に固有のツツジで、本種とは別物です。

※イワツツジは条例で採取や損傷が規制されている植物のひとつですので、くれぐれも持ち帰るのは写真と思い出だけにしてください。

しゅんく に たい ふう れん こ 春国岱・風蓮湖の自然を未来へ

NEWS

今年は4月にネイチャーセンターが開館30周年を迎え、11月にはラムサール条約湿地登録20周年を迎えます。

春、風蓮湖ではアサリ漁※をする漁業者の近くで絶滅危惧種で国の特別天然記念物であるタンチョウが食事をしている風景が見られます。同じ場所を利用する人と鳥が、互いに干渉しすぎず適度な距離をとって、資源を分け合う。人と自然がともに生活している姿が見られる、世界に誇れる場所であり、地域の皆様の理解と協力があってこそ残された姿だと思えます。



▲アサリを採る漁師の近くで食事をしているタンチョウ

長い年月を経て、春国岱では自然の遷移で変化した箇所があれば、シカの増加により減ってしまった植生があり、増えてきたヒグマの出没と自然を楽しむことの両立を考える時期にさしかかるなど、様々な変化に直面しています。これからも春国岱・風蓮湖の自然を未来に残し、多くの方々に親しんでいただくため、様々な活動をしてまいります。

※一般の方の潮干狩りは禁止されています。

見どころMAP

- ★マダニが生息しています。散策時は肌を出さない服装がおすすめです。
- ★キタキツネコースのアカエゾマツコースとの分岐点より先は長靴が必要です。



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

5・6月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ	+	少数が風蓮湖周辺に残り、子育てをしています。上空を飛ぶ姿をよく見るほか、干潮時、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、魚や水鳥などを狙っている姿が見られます。
タンチョウ	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで採食している様子や、休む様子が見られます。5月は抱卵・ふ化の時期でとても神経質になっているため、首を伸ばして人の方を見ているなど、落ち着かない様子のタンチョウがいたら近づかずすぐに離れてください。
オオジシギ	+	ネイチャーセンター駐車場付近や自然学習林周辺の草原、春国岱アカエゾマツコース周辺で、オスがメスに求愛するため「ズビャク、ズビャク」と鳴きながら飛び、「ゴゴゴー」と尾羽で音を出しながら急降下する姿が見られます。
ミヤコドリ	+	干潮時間帯前後に干潟にいるのを観察できますが、例年、5月上旬には数が減ってきます。5月下旬には数羽になると思われます。
春国岱	野鳥 (森)	森からルリビタキやミソサザイ、アオジ、カッコウの声がよく聞こえるようになります。
	野鳥 (草原)	海岸の草原ではヒバリのさえずりがよく聞かれます。風蓮湖の周りでは、ノビタキやオオジュリンが見られます。湿原では6月になると、マキノセンニュウやシマセンニュウなどのさえずりが聞かれるようになります。
	花	5月中旬にはエゾノコウボウムギ、ハマハタザオ、スミレなどが見られます。6月は、アカエゾマツコースでイワツツジ、マイヅルソウ、海岸草原でオオヤマフスマ、ハマナス、塩性湿地でウミミドリなどが花を咲かせます。
自然学習林	野鳥	夏鳥が続々と渡ってきます。5月上・中旬にはセンダイムシクイやエゾムシクイ、コムクドリなどが渡来します。6月上旬にはアオバト、コサメビタキなどが渡来し、エゾセンニュウのさえずりがよく聞かれるようになります。
	花	例年、ミズバショウは5月上旬には咲き終わりです。5月はミヤマスミレ、ヒメイチゲ、オオバナノエンレイソウ、エゾオオサクラソウ、シコタンキンポウゲなどが見られます。6月は、コンロンソウ、ネムロブシダマなどが開花します。

根室市内の沿岸で「高病原性鳥インフルエンザ」発生中

釧路から根室にかけての太平洋沿岸やオホーツク海側沿岸を中心に、鳥インフルエンザ※の感染確認が例年に比べ大幅に増えています。

根室市内では昨年11月から散発的にカラス類から高病原性鳥インフルエンザが検出されていました。主にカラスがねぐらに利用する場所での検出でしたが、3月中旬に入ってから状況が変わりました。ちょうど鳥たちの渡りがはじまり渡り鳥が北上し始めたタイミングで、港や海岸で海鳥の仲間の死体が海上に浮いていたり、打ち上げられたり、また衰弱している状態で発見される報告が相次ぎました。実際にオオセグロカモメ、エトロフウミスズメ、ウミスズメ、そして国内希少種のウミガラスからも高病原性鳥インフルエンザが検出されています。

4月4日には環境省釧路自然環境事務所から注意喚起も出されました。そこで、水辺で野鳥観察をする場合はもちろん、海釣りを行う場合にも、次のことに引き続きご注意ください。

1. 生きている野鳥や野鳥の死体には、素手でさわらない。
2. 野鳥のフンや羽毛をできるだけふまない、さわらないようにする。もしさわった場合は、流水とせっけんで手をよく洗い、うがいをする。
3. 野外観察の後は、くつの底や車のタイヤをしっかりと洗い、アルコールやうすめた塩素系の漂白剤などで消毒する。帰りに動物園や農場には立ち寄らない。
4. 弱った野鳥や死んだ鳥を見つけた場合は、できれば、根室振興局環境生活課もしくは根室市農林課に知らせる。
根室振興局環境生活課（電話 0153-23-6823）／ 根室市役所農林課 0153-23-6111（内線 2212・2213）

※鳥インフルエンザウイルスは、感染した動物との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。

（参考ページ）環境省釧路自然環境事務所 報道発表

https://hokkaido.env.go.jp/kushiro/press_00174.html



春国岱クイズ

今年開館30周年を迎えたネイチャーセンターですが、ここ数十年での春国岱の変化のひとつにエゾシカの増加があります。観光客の方には間近で野生動物が観察できるという良い面がありますが、春国岱にたくさんあったハマナスなどの植物がエゾシカに食べられ、それにより、そこに生息していた草原性の鳥たちが減少してしまうという困った面もあります。

春国岱で目立った減少がないものの、全国的には数が減少傾向にあり、東京都や山形県では絶滅危惧種に指定されている草原性の鳥がいます。その鳥は、春から夏にかけて春国岱の第一浜堤で一番よく見られる鳥ですが、次のうちどれでしょう？

①ハクセキレイ



②ノゴマ



③ヒバリ



春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

【問合せ・申込先】

春国岱ネイチャーセンター

電話：0153-25-3047

Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp

メール



◆4/19～5/6 第30回タンチョウイラスト展 巡回展

タンチョウへの興味・関心を深めてもらうため、タンチョウが生息する地域の小中学生から募集したイラスト 326 点を展示します。子供たちの作品を通して、タンチョウの魅力にふれてみませんか？

◇会期：2025 年 4 月 19 日（土）～5 月 6 日（火）9：00～17：00 ※無料。開館中いつでもご覧いただけます。

◇場所：春国岱ネイチャーセンター 2 階 ◇主催：公益財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサシクチュアリ

◆5/3～5/6 春国岱 スマホでクイズラリー

スマートフォンを使って行う電子スタンプラリーです。受付は不要、ネイチャーセンターや春国岱に設置された QR コードを読み取って開始します。ラリー後、ネイチャーセンターに来館した方には、集めたスタンプの数に応じてちょっとしたプレゼントを差し上げます。

◇日時：2025 年 5 月 3 日（土）～5 月 6 日（火）9：00～17：00

※景品交換は 5/3～5/6 のネイチャーセンター開館中に限ります。景品は数に限りがございます。

◇場所：春国岱 ※景品交換場所は春国岱ネイチャーセンター ◇対象：どなたでも ◇定員：先着 250 名

◇参加費：無料 ※通信にかかる費用は参加者ご負担。

◇持ち物・服装：スマートフォン、歩きやすい靴（全てのポイントを回るには長靴が必要）、外で活動できる服装（長そで・長ズボン）、帽子



◆5/18 はじめての早朝バードウォッチング

バードウォッチング初心者を対象に、早朝の自然学習林を歩きながら野鳥の鳴き声や姿を楽しみます。

◇日時：2025 年 5 月 18 日（日）7：00～9：00 ※雨天時は 25 日（日）に順延

◇集合・解散：春国岱ネイチャーセンター ◇対象：小学生以上（小学生は保護者同伴） ◇定員：20 名（先着順）

◇持ち物・服装：帽子、歩きやすく汚れてもよい靴または長靴、雨具、飲み物、筆記用具、虫よけ（対策スプレーなど）、双眼鏡（貸出しあり先着順）

◇参加費：100 円

◇申込方法：メール、電話または来館時に直接。参加者全員の氏名、連絡先、小学生の場合は学年もお知らせください。双眼鏡をお持ちでない方は、申込時にお知らせください。申込期限：5 月 15 日（木）17 時

募集中！

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動してくださる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に 1 回（基本的に第 3 月曜日）の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18 歳以上

◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000 円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします



クイズのこたえ ③。日本全国に生息しており、春国岱での注目度は低い鳥ですが、そんな身近な鳥が気づいたら絶滅しそう！ということにならないようにしたいですね。【参考文献】山岸洋樹ほか、2017。エゾシカの採食圧によるハマナス群落の衰退が草原性鳥類に及ぼす影響について。Strix: 33, 51-63。環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性センター、2024。モニタリングサイト 1000 第 4 期とりまとめ報告書概要版。環境省。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570

Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp



HP https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆開館時間 9：00～17：00

◆休館日：5 月 1・7・8・9・12・14・21・28 日

6 月 4・11・18・25 日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制・2 週間前までにご連絡ください）

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。

SNS でも最新の自然情報を発信しています！



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005 年 11 月 登録 【今年で登録 20 周年】